

2014年7月1日

サウジアラビアのObeikan社と合併で建築用ガラス加工会社を設立し、中東へ初進出

AGC 旭硝子株式会社

AGC（旭硝子株式会社、本社：東京、社長：石村和彦）は、当社連結子会社のAGCガラス・ヨーロッパ（以下、AGEU社）が、サウジアラビアのガラスメーカーObeikan Glass Company（本社：サウジアラビア、代表：Fahad Obeikan 以下、Obeikan社）と、建築用ガラスコーティング事業の合弁会社設立について基本合意に至ったことをお知らせします。サウジアラビア・ヤンブー市のObeikan社工場内に、同合弁会社の建築用ガラスコーティング加工ラインを新設し、2016年初旬に生産を開始する予定です。

近年、中東の建築用ガラス市場は年率約4%の成長を遂げています。特に、日差しをカットし建物の省エネ性能を大きく向上する熱線反射ガラスの需要は高まっており、市場成長率以上の成長が見込まれ、今後も建築用高機能ガラスの需要は拡大する見込みです。

高機能ガラスに不可欠なコーティング技術に強みをもつAGEU社と中東地域のガラス事業に強みをもつObeikan社は、建築用高機能ガラスの中東地域の事業展開において、相互補完によりシナジー効果を発揮していきます。

AGCグループは、今般設立する合弁会社を通じ、サウジアラビアを中心とした中東諸国における建築用ガラス市場での存在感を高め、今後の大きな成長が期待される同地域の旺盛な需要に確実に応えます。

AGCグループは、新興市場での事業拡大を「第2のグローバルイゼーション」と位置づけ、成長戦略の柱に掲げています。今後も新興市場において拡大する需要を確実に取り込むことで、成長基盤の強化・定着を図るとともに、高付加価値商品の提供を通じて新興地域の発展にも貢献していきます。

以上

(参考情報)

Obeikan社について

サウジアラビアのObeikan Investment GroupとSaudi Advanced Industries Companyの2社が設立したガラス製造会社。2011年2月に生産を開始し、中東地域最大となるフロート設備（日産800トン）を同国ヤンブー市に有しており、生産するフロートガラスは、アジア、アフリカ、米国、オーストラリア、欧州等30カ国以上へ輸出もされています。

◎本件に関するお問い合わせ先：**AGC** 旭硝子(株)広報・IR 室長 小林 純一
(担当：富屋 TEL：03-3218-5603、E-mail：info-pr@agc.com)